



平成25年3月

米沢市文化財年報 No.25

米沢市教育委員会



▲ 国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡（普門院庫裏）」寛政三年（1791）創建
（素屋根用の骨組状況）

しせき うえすぎはるのり けいしこうげいあと ふちんいん
史跡上杉治憲敬師郊迎跡「羽黒神社・普門院」は、寛政8年（1796）9月6日、三度目の米沢下向となった師細井平洲との再会に際し、前藩主上杉治憲自らがこの地に出向いて恩師を迎え、表紙の普門院で丁重に労をねぎらった場所として知られています。

史跡の老朽化に伴い平成24年度から庫裏くりの保存修理事業を着手しました。

本事業の詳細は、一般文化財及び文化財特集のページをご覧ください。

埋蔵文化財事業

本年度の埋蔵文化財に関する発掘届及び確認調査の依頼件数は、平成25年2月28日現在で47件、重要遺跡の保存目的調査2件を含めると49件でした。これらの調査成果について、紹介します。

【埋蔵文化財の確認調査】

住宅開発等に伴い、埋蔵文化財包蔵地^{ほうそうち}及び包蔵地以外の試掘調査、立会い調査、分布調査等の事前調査を平成25年2月28日現在で47件実施しました。内訳としては、住宅建設に係わるものが14件で最も多く、次いで公共工事に係わるものが10件、砂利採取・宅地開発がそれぞれ11件などとなっています。開発に伴う調査については、近年では減少傾向が続いていましたが、今年度は昨年度の約2倍となり、最近5年では最も多くなりました。

本年度の事前調査で発掘調査に至った箇所はありませんでしたが、老人ホームの増築に伴う成島遺跡と、保育園の新設に伴って新たに発見された延徳寺遺跡^{えんとくじ}の2箇所でも多くの遺物と遺構が確認されたため、来年度に発掘調査を実施する予定です。今後とも埋蔵文化財の保護にご協力をお願いします。

【館山城跡保存整備事業】

平成22年度より開始した本事業は、今年度で3年目を迎えました。調査は、館山城大手口及び東館・北館の確認調査と、北館・東館・廃寺跡^{はいしあと}の用地測量を実施しました。大手口の調査では、排水溝^{はいすいこう}を有する道路跡や石組遺構を伴う桁形虎口^{ますがたこくち}を確認し、東館・北館の調査では、東館から井戸跡や柱穴、北館からは河岸段丘の斜面に不規則な石積遺構を確認しました。今年度の調査で、館山城の城の形態や範囲に関わる多くの成果を得ることができました。現地説明会も7月と11月の2回にわたって開催し、多くの皆さまに見学して頂きました。平成25年度は、いよいよ山城の本体部分^{くるわ}（曲輪Ⅰ・Ⅱ）の調査を開始する予定であり、館山城の性格の解明に向けて大きな成果が期待されます。

【戸塚山古墳群の調査（市内遺跡発掘調査等事業）】

戸塚山古墳群の調査は、今年で4年目を迎えました。今年度は、昨年度に引き続き、東北芸術工科大学の北野ゼミと共同で、M175号墳とM195号墳の調査を実施しました。調査の結果、M175号墳については、戸塚山古墳群で現在確認されているなかでは、最も大きい横穴式石室^{よこあなしきせきしつ}を持つことが明らかになりました。M195号墳は、中世期の墳墓^{ふんぼ}か祭祀跡^{さいしあと}とみられ、古墳ではないことが判明しました。これらの成果については、11月1日に現地説明会を開催しています。また、分布調査の結果、新たに古墳2基を確認し、戸塚山古墳群で現在までに確認されている古墳の数は202基となりました。

【埋蔵文化財収蔵室遺物運搬・プレハブ倉庫の解体工事】

東北自動車の建設工事による埋蔵文化財収蔵室の移転に伴い、今年度は収蔵室の遺物を旧万世自動車教習場に移し、プレハブ倉庫の解体工事を行いました。平成25年度は、埋蔵文化財収蔵室（旧万世小学校校舎）の解体工事を実施する予定です。

＜埋蔵文化財事業＞



▲館山城跡の調査①「大手口の枅形遺構」



▲館山城跡の調査②「北館(空中写真)」



▲館山城跡「保存整備事業指導委員会」



▲館山城跡「現地説明会」



▲戸塚山古墳群の調査「M175号墳玄室」



▲戸塚山古墳群「現地説明会」



▲試堀調査①「成島遺跡」



▲試堀調査②「延徳寺遺跡」

一般文化財事業

一般文化財事業では、継続事業が中心でしたが、例年どおり多岐にわたる事業を実施しました。本年度、特に重点を置いた事業について紹介します。

【国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡」（普門院庫裏）保存整備事業】

上杉治憲敬師郊迎跡は、米沢藩9代藩主上杉治憲（鷹山公）が師の細井平洲先生を郊迎した地として、昭和10年に国の史跡に指定されています。

本年度は、普門院庫裏工事（4ヵ年計画）の1年目であり、庫裏全体を覆う素屋根の設置と庫裏と本堂を繋ぐ取次及び玄関部分の解体工事を行い、さらに普門院境内と参道の用地測量、普門院境内の発掘調査、昨年度に竣工した羽黒神社本殿保存修理工事の報告書の作成を実施しました。本事業については、特集ページも併せてご覧ください。

【市指定民俗文化財「塩地平の草木塔」覆屋設置】

草木塔は、樹木を供養^{くよう}する目的で建立された珍しい石塔で、米沢市では平成23年度に江戸時代に建立された草木塔すべてを市の文化財に指定しました。

このうち、最古の草木塔である「塩地平の草木塔^{しおちだいら}」は、石塔の一部がひび割れるなど保存状態が危惧されていたため、今年度、草木塔^{おお}を覆う覆屋を設置し、石塔を保護する措置を行いました。また、草木塔の説明板について、田沢地区を中心に12基の新規設置と2基の修繕を行いました。

【市指定天然記念物「吾妻の白猿」の愛称認定】

吾妻の白猿は、白猿会の調査により、今年度も新たに吾妻スカイバレーで雌の白猿が誕生したことが確認されました。この白猿は、これまで確認されている中では珍しい純白色の白猿で、「広報よねざわ」などで愛称を募集したところ、40件の応募がありました。審査の結果、震災復興の願いが込められた「結（ゆい）」に決まり、平成24年10月4日、白猿会の主催で「白猿愛称認定式」が開催されました。

【県指定天然記念物「長町裏のエゾエノキ」保護事業（「山形の宝」事業）】

「長町裏のエゾエノキ」は、エノキ類としては県内随一の巨木であり、昭和31年に県の天然記念物に指定されました。昨年度の保存修理に引き続き、今年度も所有者である熊野大権現が主体となって山形県の「山形の宝」地域のシンボル育成保護事業に採択され、樹木を保護するための倒壊防止支柱の設置工事を行いました。また、地元の北部コミュニティセンターで、これまでのエゾエノキの保存活動を紹介するエゾエノキの写真展を開催し、写真展に合わせて、関連するパンフレットも制作しました。

その他、市指定天然記念物「塩井神社のエノキ」の調査、上杉家墓所の^{びょうや}廟屋内の調査を実施しました。また、例年通り、市指定史跡「直江石堤」・同「戸塚山古墳群」の草刈・雑木除去や国指定史跡への管理補助事業、県指定無形民俗文化財「^{すさやま}梓山獅子踊り」への補助事業、天然記念物の保護・調査なども引き続き行っています。

今後とも、文化財保護へのご理解とご協力をお願いいたします。

<一般文化財事業>



▲普門院「庫裏全景」



▲普門院の発掘調査「土塁と堀」



▲保存用覆屋の設置「塩地平の草木塔」



▲草木塔の説明板「大明神沢の草木塔」



▲吾妻の白猿「結(ゆい)ちゃん」



▲白猿愛称認定式



▲長町裏のエゾエノキ支柱設置



▲長町裏のエゾエノキ写真展

《 第1回 文化財事業特集 》

本号より頁数を増やし、文化財事業を紹介することにしました。

第1回は、今年度より着手した普門院庫裏の保存修理工事について紹介します。

上杉治憲敬師郊迎跡（普門院庫裏）保存修理事業

史跡上杉治憲敬師郊迎跡保存修理事業は、平成20年度より開始され、昨年度には羽黒神社本殿が竣工しました。今年度の工事は、平成24年6月30日より開始され、平成25年3月22日に完了しました。工事は羽黒神社本殿と同じく吉田建設株式会社が担当し、設計監理は公益財団法人文化財建造物保存技術協会が行いました。普門院庫裏の工事は、4カ年計画で進めており、平成27年度に竣工予定です。



今年度の保存修理工事のメインは、普門院庫裏全体を覆う素屋根おおそやねの設置でした。素屋根の設置工事は、10月から本格的に行われ、11月半ばには普門院庫裏の全体が巨大な素屋根に覆われました。その大きさは、圧巻です。

◀ 普門院庫裏素屋根設置前



▲ 普門院庫裏素屋根設置後



▲ 11月16日保存修理説明会の様子 ①



▲ 11月16日保存修理説明会の様子 ②

素屋根設置後の11月16日には、市民向けの保存修理現場説明会を開催しました。

普門院境内の発掘調査

今年度は、保存修理工事に加えて普門院の史跡範囲を確定するために、平成24年8月5日より9月12日にかけて発掘調査を行いました。この調査の結果、境内には土罫と堀が重複して配されていることが判明し、外堀は薬研堀^{やげんぼり}で、中世にまで遡ることが確認されました。10月9日には、現地説明会を開催し、地元の関根地区を中心に多くの市民の皆さまにご参加頂きました。



▲発掘調査の様子①



▲発掘調査の様子②



▲検出された薬研堀^{やげんぼり}



▲検出された箱堀^{はこぼり}



▲10月9日現地説明会①



▲10月9日現地説明会②

最後に…

普門院庫裏の保存修理工事は、平成27年度まで続きます。平成25年度以降、工事は建物の本格的な解体と組立てに入り、発掘調査についても行う予定です。進捗状況に合わせて工事現場や発掘調査の説明会を開催しますので、この機会に江戸時代の建築技術や新たな発見をご覧いただければ幸いです。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

平成24年度 米沢市文化財関係事業

区 分	平成24年度の重点事項	平成24年度の主な事業報告
1. 文化財共通	<ul style="list-style-type: none"> ○事業の記録 ○文化財に関する諮問機関の開催 ○文化財行政推進大会への参加 ○文化財の普及・教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・「米沢市文化財年報」No.25の発行 ・平成24年度米沢市文化財保護審議会の開催 (第1回H24.7.20 第2回 H25.3.18) ・全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会総会への参加(岩手県北上市) ・埋蔵文化財資料室等の見学対応、米沢チャレンジウィークの受け入れ(米沢三中)
2. 埋蔵文化財	<ul style="list-style-type: none"> ○埋蔵文化財の調査 ○埋蔵文化財の情報収集及び周知 ○報告書の作成 ○施設の管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・館山城跡東館・北館範囲確認調査 ・館山城跡保存整備事業指導委員会の開催 ・市指定史跡「戸塚山古墳群」の詳細分布調査 ・戸塚山古墳群発掘調査指導委員会の開催 ・開発事業に際する事前協議及び埋蔵文化財包蔵地における土木事業前の試掘調査 ・米沢市埋蔵文化財調査報告書第102集の刊行 ・埋文収蔵室遺物運搬、プレハブ倉庫解体
3. 一般文化財	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財の調査 ○文化財の保護 ○指定文化財保存管理の充実 ○指定文化財環境整備の促進 ○無形民俗文化財後継者の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・市指定天然記念物「塩井神社のエノキ」の調査 ・上杉家墓所の廟屋内調査 ・国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡」保存修理事業の継続(5年目、普門院庫裏の1年目) ・国指定特別天然記念物「カモシカ」の保護 ・市指定天然記念物「ホタル」及び同「吾妻の白猿」、「白鳥」の保護調査 ・文化財防火デー(笹野観音堂防火訓練ほか) ・県指定天然記念物「山上の大クワ」の管理 ・市指定文化財「塩地平の草木塔」の覆屋設置 ・国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡(普門院・羽黒神社)」及び同「米沢藩主上杉家墓所」管理に係る補助 ・県指定天然記念物「長町裏のエゾエノキ」に係る補助(「山形の宝」事業) ・指定文化財説明板の設置・修繕(15件) ・国指定史跡「一ノ坂遺跡」及び市指定史跡「戸塚山古墳群」、同「谷地河原堤防(直江石堤)」の環境整備(草刈・雑木除去等の実施) ・県指定無形民俗文化財「梓山獅子踊」保存会への補助

発行 米沢市教育委員会

〒992-0012 米沢市金池三丁目1番14号

教育管理部 文化課 文化財担当

TEL 0238-21-6111 (内線7530、7531)

FAX 0238-21-6020

E-mail:bunka-ka@city.yonezawa.yamagata.jp